

# 事務局便り

令和3年7月1日

先生方には、成績処理等これからまだまだ忙しさが続く毎日のことと思います。機関誌「家庭科」2号をお届けいたします。

## \*71回全国家庭科教育協会研究大会 令和3年8月18日(水)10:00~17:00

一日のみですが、オンライン開催です。会場開催とは趣が全く異なりますが、交通費も宿泊費も不要です。是非、多くの先生方のご参加を得て、盛会にいたしましょう！参加申込をお待ちしています。

3月末に実施した「春期研修会」は、残念ながら参加者が大変少なかったのです。今大会も例年の会場開催のときに比べると、現在の参加お申込みの先生の数が極々僅かです。先に書いたように、経費もかからず、交通機関やホテルの予約の煩わしさもありません。ご勤務先で又はご自宅で研修できる絶好のチャンスです。Zoom研修で4時間を超えておりますので、たとえ自宅からの参加であっても休暇ではなく研修扱いになります。所属長に「派遣依頼状」を作成しますので、お申し出ください。一緒に研修を深めましょう！

オンラインに慣れていなくても、全く大丈夫です。Wi-Fi環境さえ整っていれば、何の問題もありません。いつかはやらなくてはいけないかもしれません。林先生ではありませんが、“**今でしょ!**”

「家庭科」1号の送付時に、「第71回研究大会案内」を同封しておりますが、**ホームページから“大会申込み”をしていただけます**。周りの皆様もお誘いの上、どうぞ奮ってご参加くださいますようお願いいたします。昨年度は研究大会が中止になりましたので、大会決議を作成しませんでした。が、議案になる通り、“**第71回全国家庭科教育協会研究大会 決議**”を作成しました。日本では家庭科は小・中・高等学校で必履修とされていて、諸外国から見れば恵まれているとも言えます。私たち家庭科教育にかかわる者は、家庭科でどんな資質・能力を育てるのかを常に意識して授業改善を図り、生徒や保護者から重要な教科であると評価される指導力とそれらのエビデンスをもっている必要があります。



## \*大会午後、校種別研修会が魅力的です！グループワークで授業改善のヒントを！

午後の校種別研修会では、小・中学校部会は「**家庭科における『指導と評価の一体化』のための学習評価**」として、**文部科学省教科調査官 丸山 早苗 先生**のご講義と演習を行います。高等学校部会は「**主体的な学びを支える高等学校家庭科の授業づくり**」について、**新潟大学大学院教授 高木 幸子 先生**にご講演いただいたあと、グループワークをして研究協議をいたします。いずれの校種別研修会も、先にあげた授業改善に役立つものと思います。

特に高等学校部会では、グループワークをします。3月に実施した「春期研修会」では、Google Jamboard（電子ホワイトボード）を使用して、現実のホワイトボードと同様に、電子ホワイトボード上にペンで図を書いたり、付箋を貼ったりすることをしました（常任理事会で事前に練習をしましたが、やや難しかったです…）。そこで、現在どなたでもできるグループワークのやり方について、常任理事の先生方で検討中です。

オンラインになって様々に学ばなくてはならないことが増えたように感じることもありますが、“何でもやってみよう！”の精神で、好奇心をもってチャレンジすると、結果“何だ、こんなことか…”ということもままあることです。家庭科で扱う実習も、一回やっただけでできるようになるわけではありません。しかしやっただけがない！と、やった経験がある！には天と地の差があると思っています。その踏み出した一歩の大切さを家庭科教員は日々実感していることと思います。

## \*授業に生かす被覆教材づくり

### 「らくらく折りたたみエコバック」 & 人気の「サコッシュ」

1. 日 程 令和3年8月20日(金) 10:30~16:30  
(基本的な裁縫用具、昼食・飲み物をご持参ください)
2. 会 場 家庭クラブ会館 渋谷区代々木3-20-6 最寄り駅：新宿  
感染予防対策は、十分にいたします。安心してお出かけください！



“参加申込”は、1号送付時に同封。又はホームページからダウンロードしてFAXにてお願いします！

## \*研究会(オンライン)や研修会への参加には、「派遣依頼状」をお出しいたします

会員の先生方の研究会や研修会へのご参加については、「派遣依頼状」を学校長にお出しできますので、お申し出ください。オンライン開催であっても、派遣依頼状の提出により、勤務先は勿論、ご自宅での参加も可能です。参加費が学校から出ることも多くありますので、自校の事務方にお尋ねください。既にお申し込みの方で、派遣依頼状ご希望の方への対応もできます。ご遠慮なくメール等でご連絡ください。

## \*再度、「家庭科教育の充実に関するアンケート」のお願い

標記のアンケートは、機関誌1号に同封しました。5月中旬頃にお手元に機関誌が届き、アンケートのメ切りが5月末日だったこともあり、回答期間がとても短かく、ご回答くださった先生(お寄せいただいた方はびっしりとお書きいただき感謝しております)が大変少なかったことにつきまして、深くお詫び申し上げます。今年度中に集計・分析予定ですので、再度アンケートのお願いをさせていただきます。是非多くの先生方からのご回答をお待ちしております。どうぞよろしくお願ひいたします。

## \*“紙上総会”の実施について

お手元にお届けした4枚綴じ「令和3年度 全国家庭科教育協会 総会 議案」について、書面による審議をお願いいたします。以下、決算・予算について簡単に説明します。

### 決算(歳入)

- 会費…児童生徒の数の減少に伴い、年々家庭科の教員が減っていることも要因の一つだが、昨年994名の入金に対し、令和2年度は916名の入金。5,000円の入金は昨年度の会費未入金の方の分。
- 賛助会員…年度当初(昨年4月1日)に賛助会への申し込み依頼をしたところ、コロナの影響があり「辞退したい」と断りの返事が数件あり、結果として29団体から、22団体に減少。
- 雑収入…夏期研修会、特に衣生活研修会を開催できず、また、チラシ封入依頼が少なかった。

### 決算(歳出)

- 研究調査費 印刷製本費…「緊急調査結果速報」印刷費の特別出費。ネットで依頼し校正無しで比較的安価に抑えられた。
- その他…研究会中止、常任理事会中止に伴い、殆どの項目で予算を大きく下回った。

### 予算(歳入・歳出)

- 会費…昨年度末(3月)に30名以上の退会届を受領。(定年退職の方がかなり多い)。新規会員申込みもあるが、900名で見積る。
- 歳出…研究会が一日のみのオンライン開催となるため、殆どの項目が昨年度予算をかなり下回る予算案とした。令和2年度の決算を参考に立てた。

以上